

2017年3月期 第1四半期決算説明資料

Develop New Value



株式会社 **ダイセル**

2016年8月3日

目次

2017年3月期 第1四半期実績

P3～P6

セグメント情報

P7～P12

参考資料

P13～P15

2017年3月期 第1四半期実績

Develop New Value



業績概要

単位：億円

	2016年3月期 第1四半期	2017年3月期 第1四半期	増減	増減率
売上高	1,134	1,037	△97	△8.6%
営業利益	159	172	+12	+7.7%
経常利益	171	160	△11	△6.5%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	116	106	△11	△9.3%
為替レート	121 円/\$	108 円/\$		

連結損益計算書

単位：億円

	16年3月期 第1四半期	17年3月期 第1四半期	増減	備考
売上高	1,134	1,037	△ 97	数量差 +23 単価差 △121(為替 △67)
売上総利益	328	343	+15	
販売費及び 一般管理費	168	171	+3	
営業利益	159	172	+12	数量影響 +51 その他 △12 価格影響 △27(為替 △22)
営業外損益	12	△ 12	△ 23	為替損益 △23
経常利益	171	160	△ 11	
特別損益	12	2	△ 10	
税金等調整前 四半期純利益	183	161	△ 21	
法人税等	53	37	△ 17	
非支配株主に帰属する 四半期純利益	13	19	+6	
親会社株主に帰属する 四半期純利益	116	106	△ 11	

◆ 自己株式取得（2016年5～6月）

40億円（約297万株）の自己株式取得を実施

＊これにより、中期計画「3D-II」の目標である
株主還元性向30%を達成する見通し
（5月発表の業績予想、配当予想ベース）

◆ 自己株式消却（2016年5月）

1,500万株の自己株式の消却実施

＊消却前発行済株式総数に対する割合約4%

セグメント情報

***D** Develop New Value*



セグメント別 売上高・営業利益分析

【売上高】

単位：億円

	16年3月期 第1四半期	17年3月期 第1四半期	増減	分 析	
				数量差	単価差
セルロース	269	223	△46	△20	△26
有機合成	212	190	△22	+3	△25
合成樹脂	419	379	△41	+7	△47
火工品	223	233	+10	+33	△22
その他	12	13	+1	+1	
合 計	1,134	1,037	△97	+23	△121

【営業利益】

	16年3月期 第1四半期	17年3月期 第1四半期	増減	分 析		
				数量影響	価格影響	その他
セルロース	78	64	△14	+6	△9	△11
有機合成	34	35	+1	+5	△6	+1
合成樹脂	48	63	+15	+8	△9	+17
火工品	28	41	+13	+30	△3	△13
その他	△2	1	+3	+3	0	0
全 社	△27	△32	△5	0	0	△5
合 計	159	172	+12	+51	△27	△12

セルロース事業 セグメント

売上高

△46億円

為替影響

△18億円

◆ 酢酸セルロース：

液晶表示向けフィルム用途が微増となったが、
その他用途が減少したことや、為替の影響などにより、減収

◆ たばこフィルター用トウ：

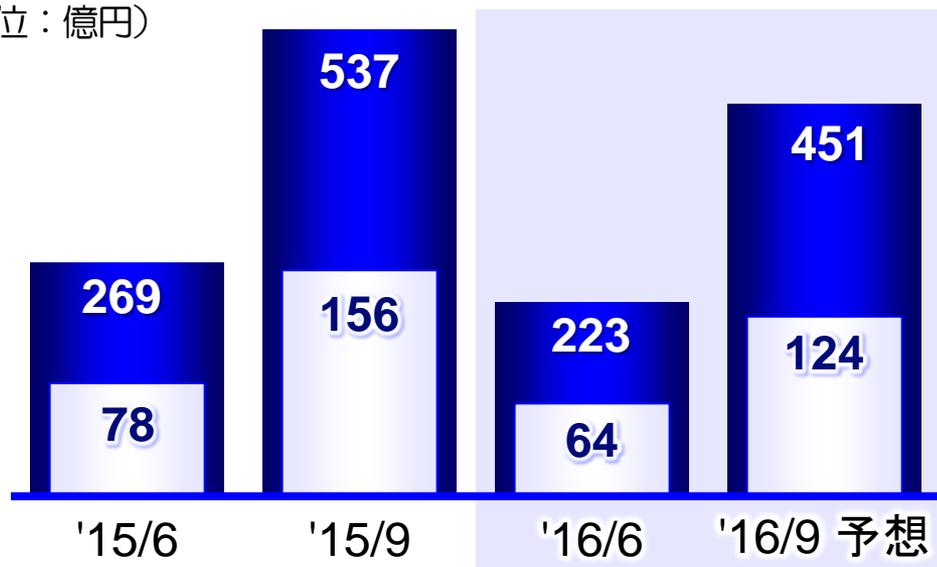
世界的に需給が緩んでいる中、主要顧客との関係強化や新規顧客開拓により
販売数量が増加したものの、為替の影響などにより、減収

営業利益

△14億円

為替の影響などにより、減益

(単位：億円)



有機合成事業 セグメント

売上高

△22億円

為替影響

△7億円

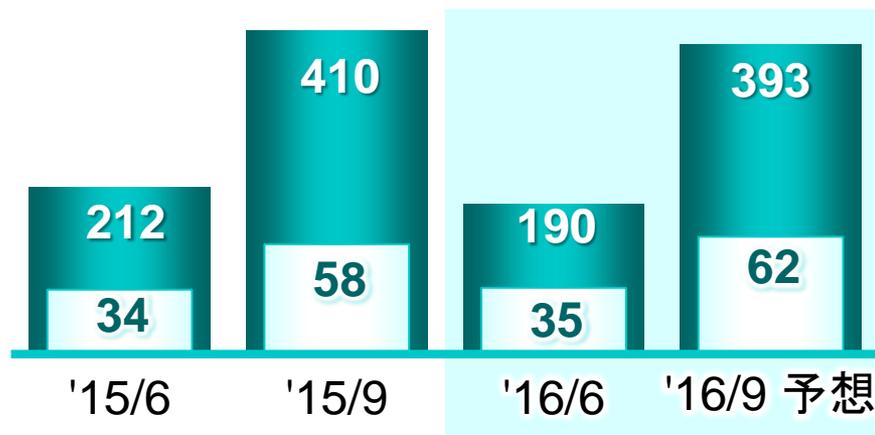
- ◆ **酢酸**： 網干工場で2年に1度の定期修繕を実施しない年であったことにより販売数量が増加したものの、為替の影響や市況低下の影響により、減収
- ◆ **合成品**： 電子材料分野や塗料用途などへの販売数量が減少したことや、為替の影響や原油価格低下に伴う販売価格への影響などにより、減収
- ◆ **機能品**： 国内の一部製品の電子材料分野への販売数量が増加したものの、海外での需要が低下したことや、為替の影響などにより、減収
- ◆ **キラル分離事業**： 中国やインド向けなどのカラム販売が好調に推移したものの、為替の影響などにより、減収

営業利益

+1億円

原燃料調達価格の低下や、網干工場の定期修繕を実施しなかったことなどにより、増益

(単位：億円)



合成樹脂事業 セグメント

売上高

△41億円

為替影響

△25億円

◆ エンジニアリングプラスチック事業：

中国などの新興国経済の減速や日系自動車メーカーの低成長化、電子デバイス製品の販売不振という市場環境の中でも販売数量は増加したものの、為替の影響や原燃料価格低下に伴う販売価格への影響などにより、減収

◆ 樹脂コンパウンド事業：

国内を中心に販売数量が増加したものの、為替の影響や原油価格低下に伴う販売価格への影響などにより、減収

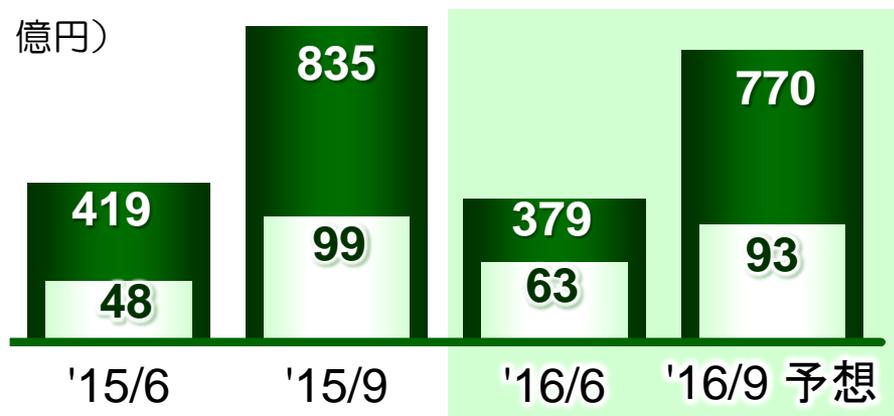
◆ 樹脂加工事業：シートの販売が減少したことにより、減収

営業利益

+15億円

販売数量の増加や、原燃料調達価格の低下、固定費削減などにより、増益

(単位：億円)



火工品事業 セグメント

売上高

+10億円

為替影響

△17億円

◆ 自動車安全部品事業：

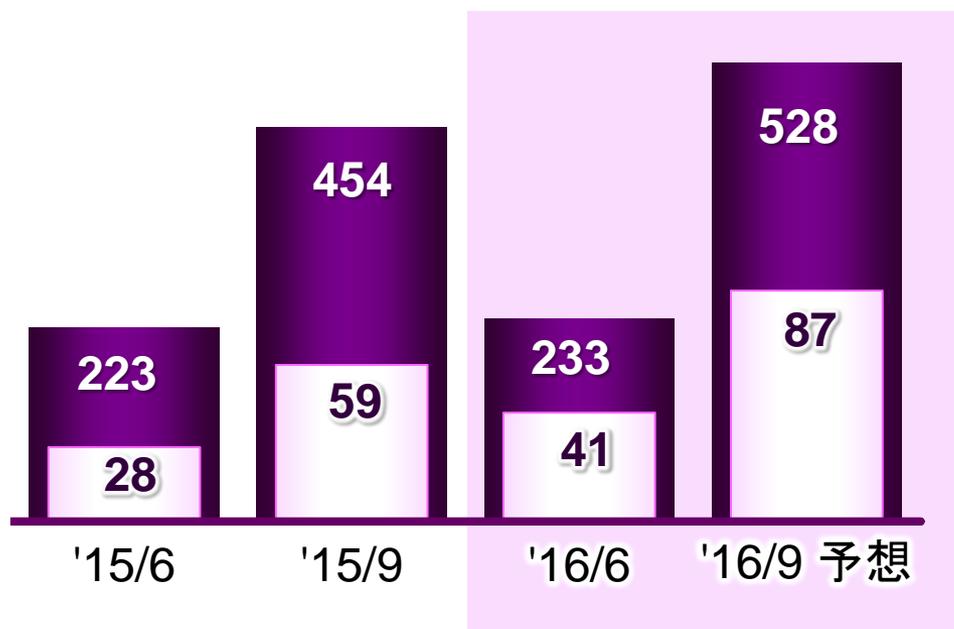
為替の影響があったものの、インフレータの販売数量増加などにより、増収

営業利益

+13億円

販売数量の増加などにより、増益

(単位：億円)



参考資料

Develop New Value



連結貸借対照表

単位：億円

	2016年 3月末	2016年 6月末	増減	備 考
流動資産	2,768	2,577	△192	
現預金及び有価証券	667	586	△81	
受取手形及び売掛金	845	775	△70	
棚卸資産	1,049	1,022	△27	
その他	208	193	△15	
固定資産	2,834	2,692	△142	
有形固定資産	1,756	1,706	△50	取得+69、償却 △60、為替換算差△57
無形固定資産	113	101	△12	
投資その他資産	964	885	△79	投資有価証券△67
資産合計	5,602	5,269	△333	
負債	1,915	1,728	△186	
有利子負債	713	709	△4	有利子負債比率 13.5%
その他	1,202	1,019	△182	
純資産	3,687	3,540	△147	自己資本比率 62.1%
負債純資産 合計	5,602	5,269	△333	

2017年3月期業績予想(対前年)

注:2016年3月期決算時発表値。第1四半期決算時点での見直しは行っておりません。

(単位:億円)

	2016年3月期実績			2017年3月期予想			年間 増減
	上期	下期	合計	上期	下期	合計	
売上高	2,265	2,234	4,499	2,170	2,270	4,440	△59
セルロース	537	507	1,045	451	489	940	△105
有機合成	410	408	818	393	407	800	△18
合成樹脂	835	776	1,611	770	780	1,550	△61
火工品	454	505	959	528	561	1,089	+130
その他	29	37	66	28	33	61	△5
営業利益	316	327	643	300	310	610	△33
セルロース	156	141	297	124	116	240	△57
有機合成	58	54	112	62	54	116	+4
合成樹脂	99	106	205	93	105	198	△7
火工品	59	80	139	87	94	181	+42
その他	△1	3	2	0	4	4	+2
全社	△55	△56	△111	△66	△63	△129	△18
経常利益	327	327	654	310	325	635	△19
親会社株主に帰属する 当期純利益	213	190	403	200	200	400	△3
為替レート	122 円/\$	118 円/\$	120 円/\$	110 円/\$	110 円/\$	110 円/\$	

* 予想前提条件: 為替レート110円/\$、メタノール\$250、原油\$35、国産ナフサ34,000円

予測に関する注意事項

本資料は情報の提供を目的としており、本資料により何らかの行動を勧誘するものではありません。本資料は、現時点で入手可能な信頼できる情報に基づいて当社が作成したものではありませんが、リスクや不確実性を含んでおり、当社はその正確性・完全性に関する責任を負いません。

ご使用に際しては、ご自身の判断にてお願いいたします。本資料に記載されている見通しや目標数値等に全面的に依存して投資判断を下すことによって生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負いません。

この資料の著作権は、株式会社ダイセルに帰属します。
いかなる理由によっても、当社に許可無く資料を複製・配布することを禁じます。

